

都市づくりフォーラム 第5回

都市づくりトピックス

<都市づくりと観光>

色づく街路樹を眺めながら町をそぞろ歩き、うまいものを食す。そんなことが気持ちよい季節になりました。初めて歩く町のことをもっと知りたくなったり、好きになったりするきっかけは、「驚き」に出会うことだと思います。

「驚き」の中身は、「歴史」「町がきれい」「人がいきいきしている」「おいしい食べ物がある」などであり、それらは日常の暮らしの中で育まれてきたものです。

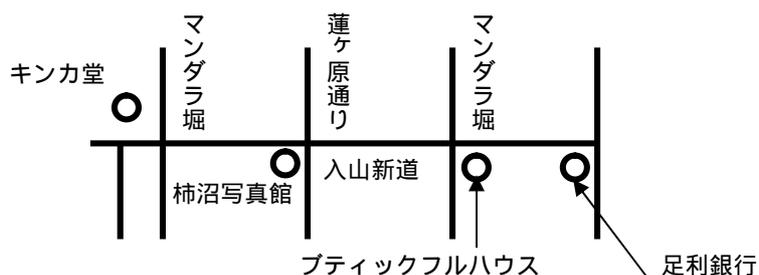
羽生市にも歴史があり、元気な人がいて、おいしいものもあります。そのすべてが羽生市の印象となって訪れる人の心に焼き付きます。市民の暮らしや楽しみ、それを支える施設や装置は、観光の対象となり得ます。素顔が美しい町は、魅力ある町といえます。

「住んでみたいところが訪れてみたいところ」 楽しい日常生活を送れる町を市民の皆さんと共につくることが、引いては羽生市の活性化につながるのではないかと考えています。

羽生のいいところミーック

<歴史の宝庫、入山新道その1>

足利銀行からキンカ堂へ向かう通りは「入山新道」と呼ばれています。この沿道には、既にご紹介した通見社跡や清水卯三郎生誕地の他にもおもしろい話が多いので、今月から何回かにわたってご紹介します。この「驚き」を埋もれさせず、都市づくりに活かしたいものです。(本川俣在住の掘越美恵子様から情報をいただきました。ありがとうございました。)



今回は通りの名称にスポットを当ててみました。通りにはそれぞれ物語があり、それが名前に現れています。由緒ある名前は大事にしたいものです。

入山新道...今から百数十年前に入山さんというお金持ちの人が、地区の交通の便をよくしようとして造った道です。このように個人が造った道は 新道と呼ばれています。

マンダラ堀...羽生城の堀だった所です。現在は排水路となっています。

蓮ヶ原通り...キンカ堂の周辺は沼地で、蓮の花が咲き乱れていたことから、蓮ヶ原と呼ばれるようになりました。



市民フォーラム

市では、「市民の皆さんとの協働による地域づくり」という考えに基づき、その進め方を検討しています。市民の皆さんが主体となることができる地域づくりの仕組みをつくりたいと考えています。例えば、公共空間に花を植えるということであれば、実際に作業するのは発案者である市民の皆さんであり、企業や市役所が道具の貸し出しや技術指導を行うというものです。この考えについて、市民の皆さんのご意見をお聞きしたいと思います。どんなことでも結構ですので、下記あてどしどしお寄せ下さい。お待ちしております。

市民フォーラムへのご意見やいいところミーツケへの情報提供先は

都市計画課（内線 275）

FAX 561 - 6380

email toshikei@city.hanyu.lg.jp